

平成24年度
実施事業

事務事業名 登別市葬斎場中間改修事業

区分	No	名称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	2	自然を生かした潤いのあるまちづくり
施策	1	人と自然が共生する潤いと安らぎのある環境の創出
小分類	5	葬斎場・墓地の整備
主要な施策	1	①葬斎場の効率的な運営
事務事業番号	006	事業開始年度 平成 24 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	市民生活部	グループ名	市民サービスグループ
-----	-------	-------	------------

事務事業の概要 《Plan・Do》



目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください) 葬斎場延命化のための計画的な改修を行い、効率的な施設運営を推進することを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください) 供用開始から8年以上を経過した葬斎場について、施設延命化のため、計画に基づいた改修を行った。 【事業実績】 ・葬斎場バグフィルターろ布の交換（1系列） 8,996千円 (元金：8,925千円 利子：71千円) <備考資金支払い計画> 平成24年度 10千円 (利子：10千円) 平成25年度 2,260千円 (元金：2,235千円 利子：25千円) 平成26年度 2,250千円 (元金：2,230千円 利子：20千円) 平成27年度 2,240千円 (元金：2,230千円 利子：10千円) 平成28年度 2,236千円 (元金：2,230千円 利子：6千円) 合 計 8,996千円
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください) 葬斎場の延命化及び費用負担の平準化を図るため本年度も引き続き、火葬炉及び関連設備の計画的な改修を行う。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円			1,800		
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	0	10	3,101	10,889	10,048
事業費 合計			0	10	4,901	10,889	10,048

指標の推移 《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 各年度の事業達成率	%	目標値	0	100	100	100	100
			実績値	0	100			
	②		目標値					
			実績値					

工事前	住所	登別市富浦町186番地1	工事後
バグフィルターろ布（1系列）		バグフィルターろ布（1系列）	
			

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可）

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 指定管理者として㈱中田商会在管理している施設であるが、小規模な修繕を除き、施設の所有者として市が行うべき事業である。
	<input type="checkbox"/>	② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="checkbox"/>	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="checkbox"/>	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="checkbox"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 施設の故障等により火葬を停止することができない施設であることから、計画的に改修を行い、施設の延命を図らなければならない。
	<input type="checkbox"/>	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="checkbox"/>	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input checked="" type="radio"/>	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 改修事業実施に係る経費は必要最小限の内容で構成されている。
	<input type="checkbox"/>	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="checkbox"/>	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="checkbox"/>	④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/>	① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 平成24年度の改修事業は、計画どおり実施できた。
	<input type="checkbox"/>	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="checkbox"/>	③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="checkbox"/>	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	本事業を計画に沿って推進することにより施設の適正な運営ができることから、十分な効果を上げているため必要不可欠な事業である。
-----------	----------------------	---

②行政評価会議による評価

維持	備考
-----------	----

③総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維持	備考
-----------	----

〔評価区分〕

- ◆拡大（事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業）
- ◆維持（事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施個所等に変更が生じる事業）
- ◆改善（当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業）
- ◆休止（暫定的に休止する事業）
- ◆廃止（事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業）
- ◆終了（事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業）